



# 令和5年度 市民アンケート実施結果(速報集計)

## 調査の概要

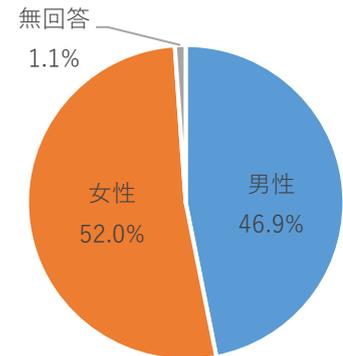
調査設計	◆調査対象 満18歳から74歳までの鹿角市民	◆実施方法 自治会長等を通じた配付と郵送回収及びWeb回答
	◆対象者数 900人	◆調査期間 令和5年5月30日(火)～6月15日(木)
	◆抽出方法 住民基本台帳からの無作為抽出	◆有効回答 442人(回答率49.1%)
調査項目	1. 市の政策について      2. 新型コロナウイルス感染症等の対策について 3. 運動の実施状況について      4. 文化芸術鑑賞について      5. コモッセの利用状況について 6. 大湯環状列石について      7. 中心市街地について      8. カーボンニュートラルについて 9. まちの満足度について	

※ 基数となるべき実数(N)は、設問に対する回答者数です。また、本文中の百分率は少数点第2位を四捨五入しているため、あるいは複数回答のため、数値の合計が100にならない場合や複数の項目の数値の合計が本文中の数値と一致しない場合があります。

## 調査回答者の属性

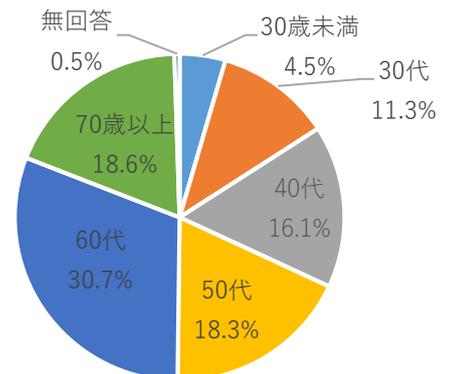
### 1 性別

区分	回答者数	構成比
男性	207人	46.9%
女性	230人	52.0%
無回答	5人	1.1%
計	442人	100%



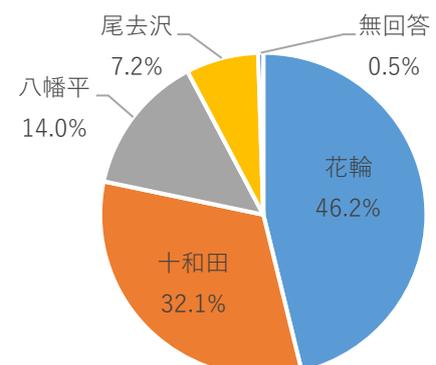
### 2 年代別

区分	回答者数	構成比
30歳未満	20人	4.5%
30代	50人	11.3%
40代	71人	16.1%
50代	81人	18.3%
60代	136人	30.7%
70歳以上	82人	18.6%
無回答	2人	0.5%
計	442人	100%



### 3 地区別

区分	回答者数	構成比
花輪	204人	46.2%
十和田	142人	32.1%
八幡平	62人	14.0%
尾去沢	32人	7.2%
無回答	2人	0.5%
計	442人	100%



## 1 市の政策について

**設問2** あなたは、市が進めている取組にどのくらい満足していますか。また、今後のまちづくりにとってどのくらい重要であると考えていますか。あなたの考えに一番近い番号をそれぞれ1つつ  
選んで○をつけてください。

### 【市が進めている取組に対する満足度】

第7次鹿角市総合計画前期基本計画の各戦略目標を達成するために定めた32の取組方針に関連する事柄について、5「満足」、4「やや満足」、3「普通」、2「やや不満」、1「不満」、0「わからない」の中から1つを選択する形式で「これまでの満足度」に関する状況を調査しています。

順位	取組方針	満足度スコア	回答者の割合						
			満足(5)	やや満足(4)	普通(3)	やや不満(2)	不満(1)	わからない	無回答
1位	ごみの適正処理と資源リサイクルの推進	3.09	8.1%	21.0%	55.0%	5.9%	3.6%	5.2%	1.1%
2位	心身の健康づくり	2.97	8.1%	17.2%	56.1%	6.1%	4.5%	7.2%	0.7%
3位	衛生的で良好な生活環境の確保	2.86	11.1%	12.7%	48.4%	11.1%	8.4%	7.0%	1.4%
4位	文化財の保存	2.74	6.1%	14.5%	54.3%	7.9%	3.8%	12.2%	1.1%
5位	緑と水の映えるまちの環境を守ります	2.73	4.1%	13.3%	59.0%	7.0%	4.1%	10.9%	1.6%

市が進めている取組に対する満足度として最も高い評価を得たのは、「ごみの適正処理と資源リサイクルの推進」です。5点を満点として点数化した満足度のスコアは3.09、29.1%の人が満足・やや満足、55.0%の人が普通という評価をしています。

2番目に多く選ばれたのは、「心身の健康づくり」です。満足度のスコアは2.97、25.3%の人が満足・やや満足、56.1%の人が普通という評価をしています。

3番目に多く選ばれたのは「衛生的で良好な生活環境の確保」です。満足度のスコアは2.86、23.8%の人が満足・やや満足、48.4%の人が普通という評価をしています。

4番目は、「文化財の保存」です。満足度のスコアは2.74、20.6%の人が満足・やや満足、54.3%の人が普通という評価をしています。

5番目は、「緑と水の映えるまちの環境を守ります」です。満足度のスコアは2.73、17.4%の人が満足・やや満足、59.0%の人が普通という評価をしています。

[参考] 過去5年間の推移 ※R3より項目の表記を変更

順位	H29	H30	R1	R2	R3
1位	子育て支援の充実	観光の振興	子育て支援の充実	高齢者福祉の充実	ごみの適正処理と資源リサイクルの推進
2位	健康づくりの推進	子育て支援の充実	高齢者福祉の充実	快適環境の創出	心身の健康づくり
3位	高齢者福祉の充実	健康づくりの推進	健康づくりの推進	子育て支援の充実	文化財の保存
4位	鹿角ライフの促進	高齢者福祉の充実	観光の振興	水道水の安定供給	衛生的で良好な生活環境の確保
5位	スポーツの推進	鹿角ライフの促進	農業生産の振興	健康づくりの推進 消防・救急体制の充実	火災や救急に対する体制の強化 防犯や交通安全の推進

### 【今後のまちづくりに対する重要度】

第7次鹿角市総合計画前期基本計画の各戦略目標を達成するために定めた32の取組方針に関連する事柄について、5「重要」、4「やや重要」、3「普通」、2「あまり重要でない」、1「重要でない」、0「わからない」の中から1つを選択する形式で「これからの重要度」に関する状況を調査しています。

順位	取組方針	重要度スコア	回答者の割合						
			重要(5)	やや重要(4)	普通(3)	あまり重要でない(2)	重要でない(1)	わからない	無回答
1位	適切な医療を受けられる体制の整備	<b>4.28</b>	61.1%	22.2%	10.2%	0.2%	0.2%	5.4%	0.7%
2位	地域ぐるみの子育て支援の充実	<b>3.85</b>	45.5%	25.1%	17.4%	0.7%	0.9%	9.7%	0.7%
3位	市民等の意欲のある就労・就農に対する支援	<b>3.84</b>	43.7%	29.2%	13.8%	0.9%	1.1%	10.2%	1.1%
4位	子どもから青少年までの生きる力の育成	<b>3.83</b>	38.7%	28.3%	23.8%	0.5%	0.5%	7.5%	0.9%
5位	地域に合った公共交通手段を確保します	<b>3.78</b>	33.7%	31.2%	25.1%	1.8%	0.9%	5.9%	1.4%

今後のまちづくりに対する重要度として最も多くの方に選ばれたのは、「適切な医療を受けられる体制の整備」です。5点を満点として点数化した重要度のスコアは4.28、83.3%の人が重要・やや重要という評価をしています。

2番目に多く選ばれたのは、「地域ぐるみの子育て支援の充実」です。重要度のスコアは3.85、70.6%の人が重要・やや重要という評価をしています。

3番目に多く選択されたのは、「市民等の意欲のある就労・就農に対する支援」です。重要度のスコアは3.84、72.9%の人が重要・やや重要という評価をしています。

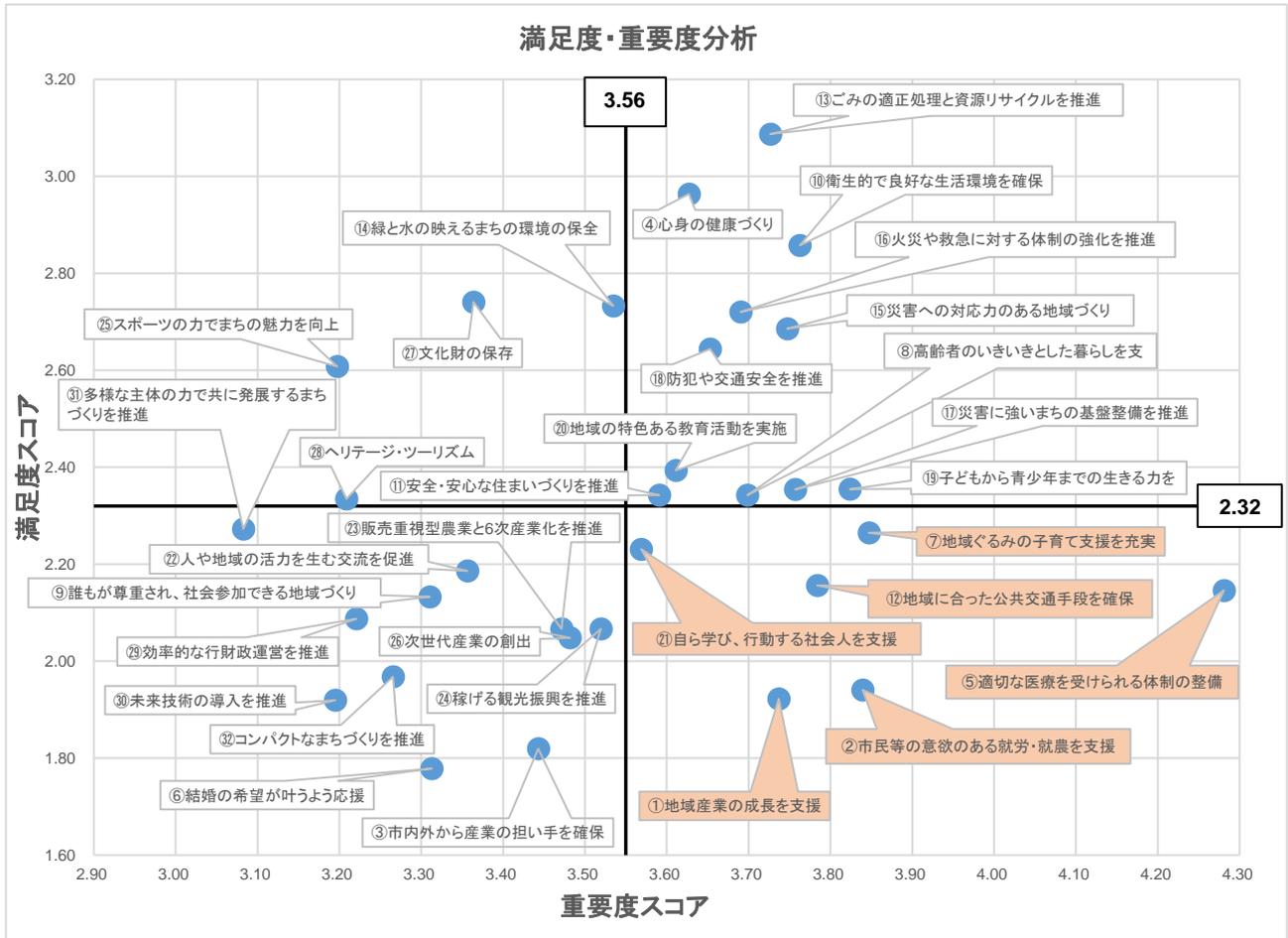
4番目は「子どもから青少年までの生きる力の育成」で、重要度のスコアは3.83、67.0%の人が重要・やや重要という評価をしています。

5番目は「地域に合った公共交通手段を確保します」で、重要度のスコアは3.78、64.9%の人が重要・やや重要という評価をしています。

[参考] 過去5年間の推移 ※R3より項目の表記を変更

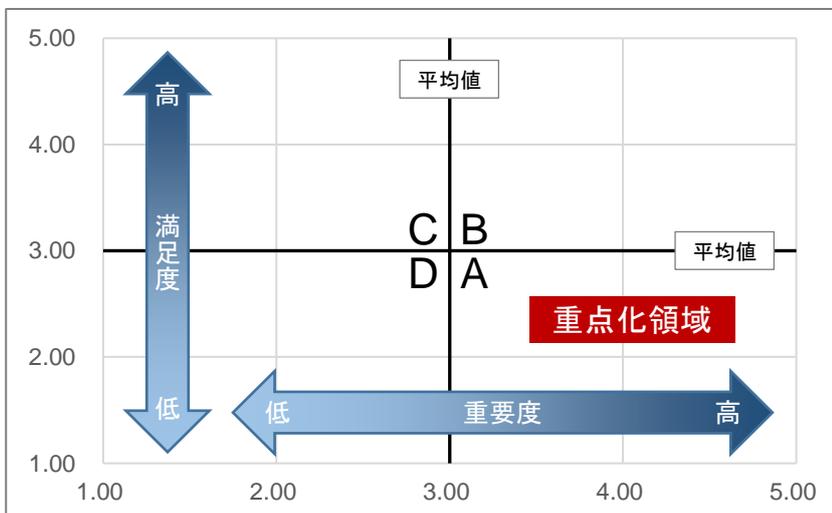
順位	H29	H30	R1	R2	R3
1位	地域医療体制の充実	地域医療体制の充実	地域医療体制の充実	地域医療体制の充実	適切な医療を受けられる体制の整備
2位	雇用の安定	商店街の活性化	商店街の活性化	商店街の活性化	市民等の意欲のある就労・就農に対する支援
3位	商店街の活性化	雇用の安定	学校教育の充実	雇用の安定	地域産業の成長に対する支援
4位	学校教育の充実	学校教育の充実	雇用の安定	地域産業の活性化	地域ぐるみの子育て支援の充実
5位	観光の振興	地域産業の活性化 公共交通の確保	市街地の整備	公共交通の確保	子どもから青少年までの生きる力の育成

【満足度・重要度のクロス分析】



【満足度・重要度をクロス分析する散布図の見方】

本市の32の取組方針における「満足度」と「重要度」の回答結果からそれぞれの平均を求め、縦軸に満足度、横軸に重要度を取り、散布図として表しています。散布図では、「満足度」と「重要度」の平均値から4つの領域に分けることができ、特にA領域は市民の満足度が低く、かつ今後のまちづくりにとって重要度が高いと考えている「重点化領域」となり、重点的な改善が求められる分野となります。



満足度・重要度が共に高いのは、「④心身の健康づくり」、「⑧高齢者のいきいきとした暮らしを支援」、「⑩衛生的で良好な生活環境を確保」、「⑪安心・安全な住まいづくりを推進」、「⑬ごみの適正処理と資源リサイクルを推進」、「⑮災害への対応力のある地域づくり」、「⑯火災や救急に対する体制の強化を推進」、「⑰災害に強いまちの基盤整備を推進」、「⑱防犯や交通安全を推進」、「⑲子どもから青少年までの生きる力を育む」、「⑳地域の特色ある教育活動を実施」であり、今後も重点的に取組を継続していく分野といえます。

一方、満足度が低く、重要度が高いのは、「①地域産業の成長を支援」、「②市民等の意欲のある就労・就農を支援」、「⑤適切な医療を受けられる体制の整備」、「⑦地域ぐるみの子育て支援を充実」、「⑫地域に合った公共交通手段を確保」、「⑳自ら学び、行動する社会人を支援」の6項目でした。人口減少や少子高齢化が進む中、市内産業の活性化と就労・就農への支援が重要視されており、競争力の強化と生産基盤の整備等のほか、働く意欲のあるすべての方への支援が必要とされています。昨年度は満足度が平均以上だった「⑦地域ぐるみの子育て支援を充実」については、子育て政策（環境整備や直接的な支援等）が不足しているという意見が複数あったほか、「⑳自ら学び、行動する社会人を支援」については、年代別のイベント開催、専門の教育機関が少ないことが挙げられており、満足度を下げた要因と考えられます。また、地域医療体制の整備、公共交通手段の確保については、引き続き医師確保対策や交通手段の利便性向上が求められていると考えられます。

取組方針	満足度		重要度	
	スコア	順位	スコア	順位
①地域産業の成長を支援します	1.92	29位	3.74	9位
②市民等の意欲のある就労・就農を支援します	1.94	28位	3.84	3位
③市内外から産業の担い手を確保します	1.82	31位	3.44	22位
④心身の健康づくりに取り組みます	2.96	2位	3.63	14位
⑤適切な医療を受けられる体制を整えます	2.15	21位	4.28	1位
⑥結婚の希望が叶うよう応援します	1.78	32位	3.31	25位
⑦地域ぐるみの子育て支援を充実します	2.26	17位	3.85	2位
⑧高齢者のいきいきとした暮らしを支援します	2.34	14位	3.70	11位
⑨誰もが尊重され、社会参加できる地域をつくります	2.13	22位	3.31	26位
⑩衛生的で良好な生活環境を確保します	2.86	3位	3.76	6位
⑪安全・安心な住まいづくりを進めます	2.34	13位	3.59	16位
⑫地域に合った公共交通手段を確保します	2.16	20位	3.78	5位
⑬ごみの適正処理と資源リサイクルを進めます	3.09	1位	3.73	10位
⑭緑と水の映えるまちの環境を守ります	2.73	5位	3.53	18位
⑮災害への対応力のある地域をつくります	2.69	7位	3.75	8位
⑯火災や救急に対する体制の強化を進めます	2.72	6位	3.69	12位
⑰災害に強いまちの基盤整備を進めます	2.35	12位	3.76	7位
⑱防犯や交通安全を進めます	2.64	8位	3.65	13位
⑲子どもから青少年までの生きる力を育みます	2.35	11位	3.82	4位
⑳地域の特色ある教育活動を実施します	2.39	10位	3.61	15位
㉑自ら学び、行動する社会人を支援します	2.23	18位	3.57	17位
㉒人や地域の活力を生む交流を促進します	2.19	19位	3.36	24位
㉓販売重視型農業と6次産業化を進めます	2.07	24位	3.47	21位
㉔稼げる観光振興を進めます	2.07	25位	3.52	19位
㉕スポーツの力でまちの魅力を高めます	2.61	9位	3.20	30位
㉖次世代産業の創出に取り組みます	2.05	26位	3.48	20位
㉗文化財の保存に取り組みます	2.74	4位	3.36	23位
㉘ヘリテージ・ツーリズムに取り組みます	2.33	15位	3.21	29位
㉙効率的な行財政運営を推進進めます	2.09	23位	3.22	28位
㉚未来技術の導入を進めます	1.92	30位	3.19	31位
㉛多様な主体の力で共に発展するまちづくりを進めます	2.27	16位	3.08	32位
㉜コンパクトなまちづくりを進めます	1.97	27位	3.27	27位

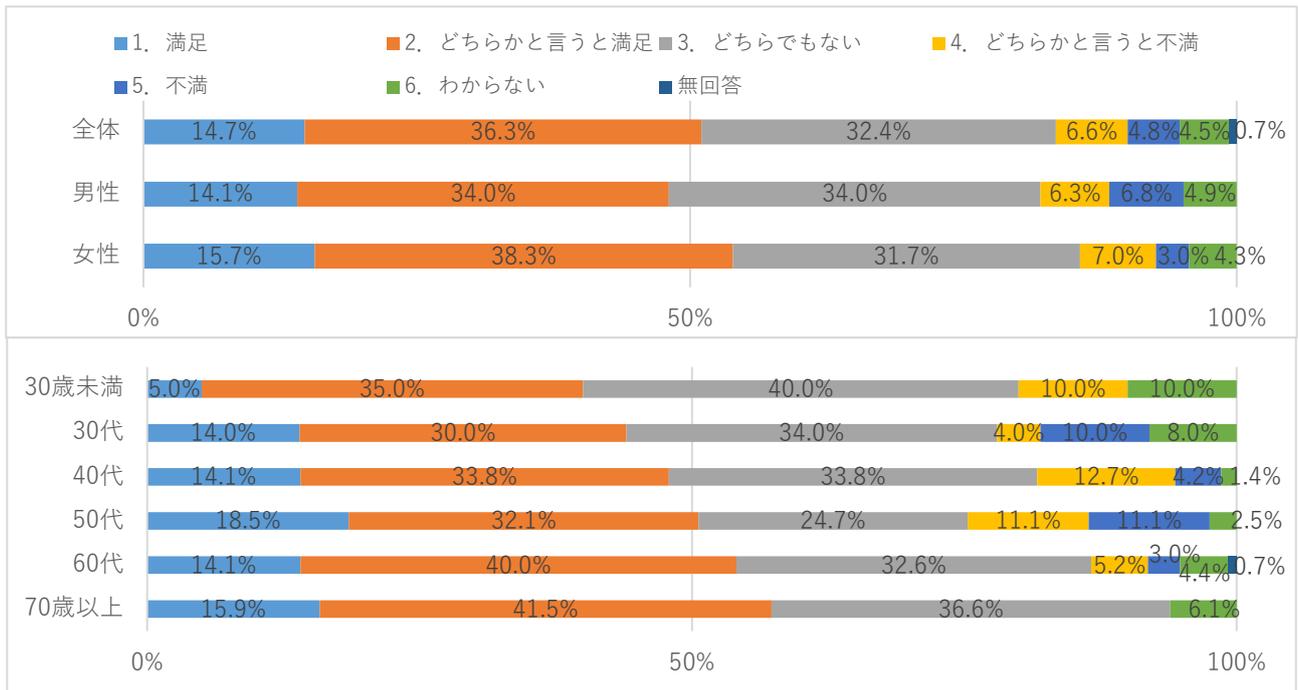
## 2 新型コロナウイルス感染症等の対策について

**設問3** 令和4年度における市の新型コロナウイルス感染症対策等への満足度をお聞きします。あなたの考えに一番近い番号をそれぞれ1つずつ選んで○をつけてください。

### 【新型コロナウイルス感染症】

新型コロナウイルス感染症や原油価格・物価高騰に関連する市の政策について、5「満足」、4「どちらかと言うと満足」、3「どちらでもない」、2「どちらかと言うと不満」、1「不満」、0「わからない」の中から1つを選択する形式で「政策への満足度」に関する状況を調査しています。

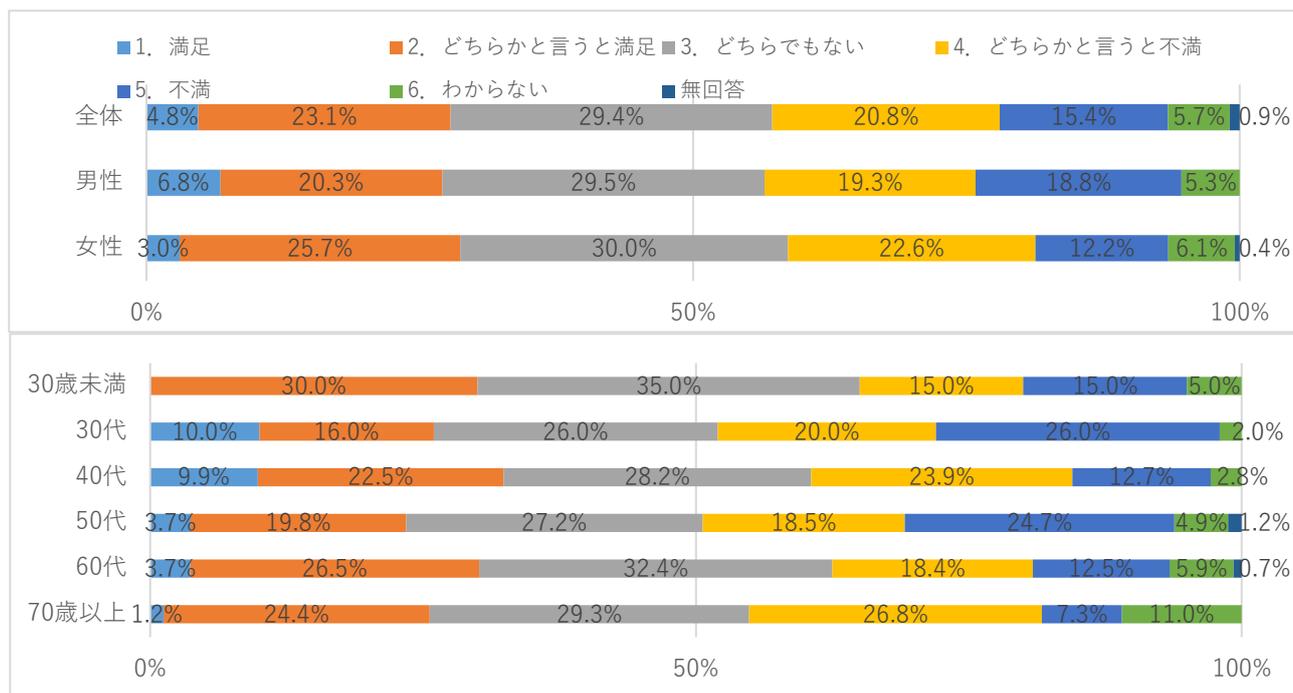
### 【感染症防止対策について】



### 【分析概要】

- ▶ 「満足」「どちらかと言うと満足」と回答した割合は51%でした。
- ▶ 年代別では30歳未満が最も低く、年代が上がるにつれ満足度が高くなりました。
- ▶ また70歳以上では「不満」「どちらかと言うと不満」と回答した方はおらず、感染症対策については評価されていると考えられます。

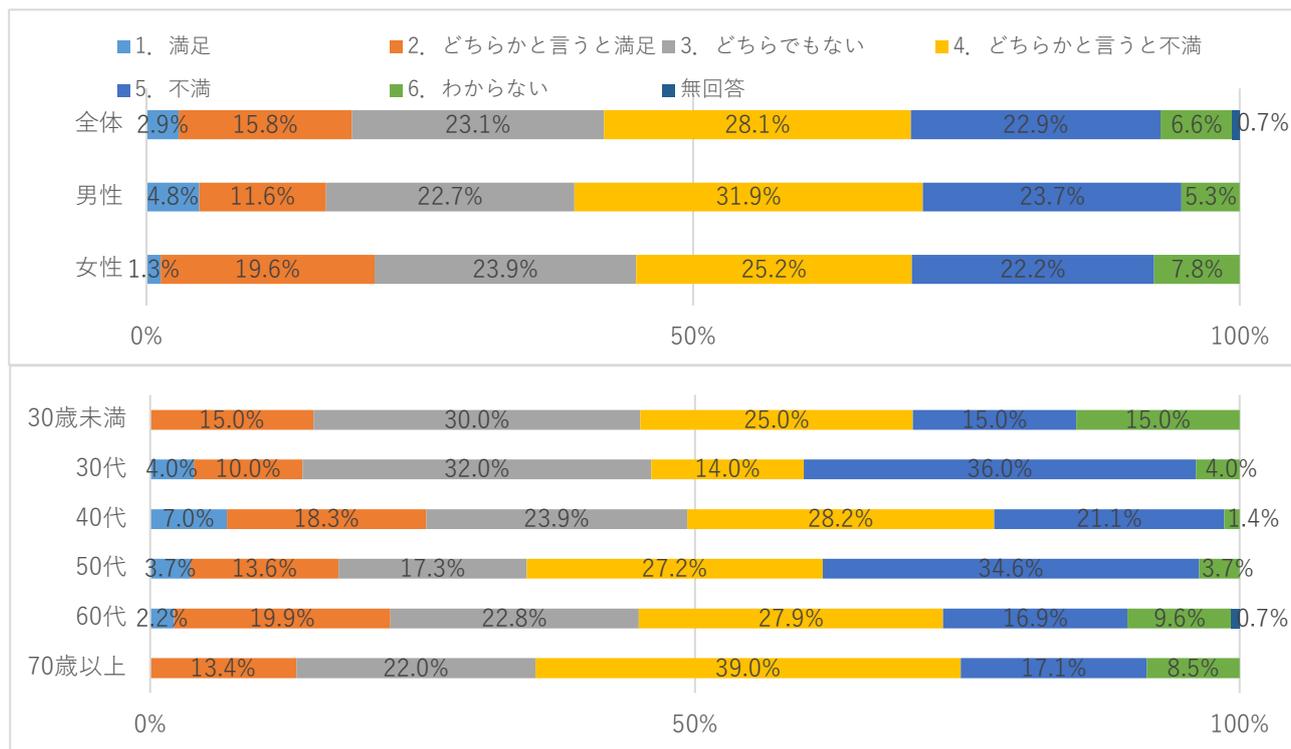
## 【経済対策・生活支援について】



### 【分析概要】

- ▶ 「満足」「どちらかと言うと満足」と回答した割合は 27.9%でした。
- ▶ 「不満」「どちらかと言うと不満」と答えた割合は 36.2%でした。
- ▶ 年代別では 30代と 50代が不満と感じている割合が高く、「不満」「どちらかと言うと不満」と回答した割合が 40%を超えています。また 30歳未満では「満足」と答えた方はいませんでした。
- ▶ 全年代で 3割以上が「不満」「どちらかと言うと不満」と回答しており、経済支援・生活支援が足りない、行き届いていないと感じている方が年代にかかわらずいるものと考えられます。

## 【物価高騰対策について】



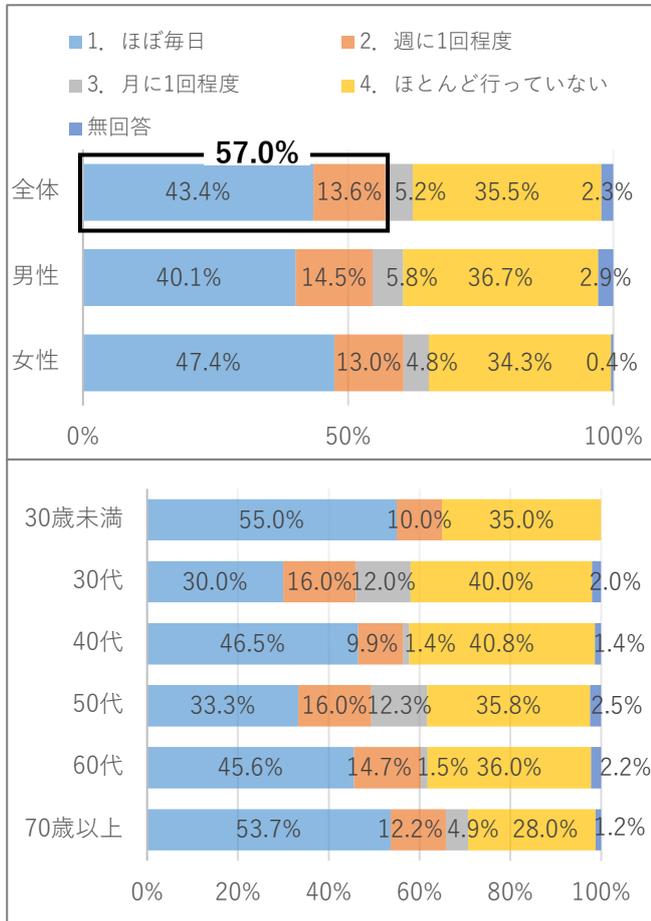
## 【分析概要】

- ▶ 「満足」「どちらかと言うと満足」と回答した割合は18.7%でした。
- ▶ 「不満」「どちらかと言うと不満」と答えた割合は51%となり、半数以上が不満と感じています。
- ▶ 年代別では50代が不満と感じている割合が最も高く61.8%で最も多く、30歳未満と70歳以上では「満足」と回答した方はいませんでした。
- ▶ 物価高騰対策は子育て、高齢世代で不満を感じている方が多く、所得に対する生活必需品への支出割合が高いため、物価高騰の影響を特に強く受けていると考えられます。
- ▶ 自由記載欄では非課税世帯等への支援のみではなく、全市民向けの支援策を求める意見もありました。

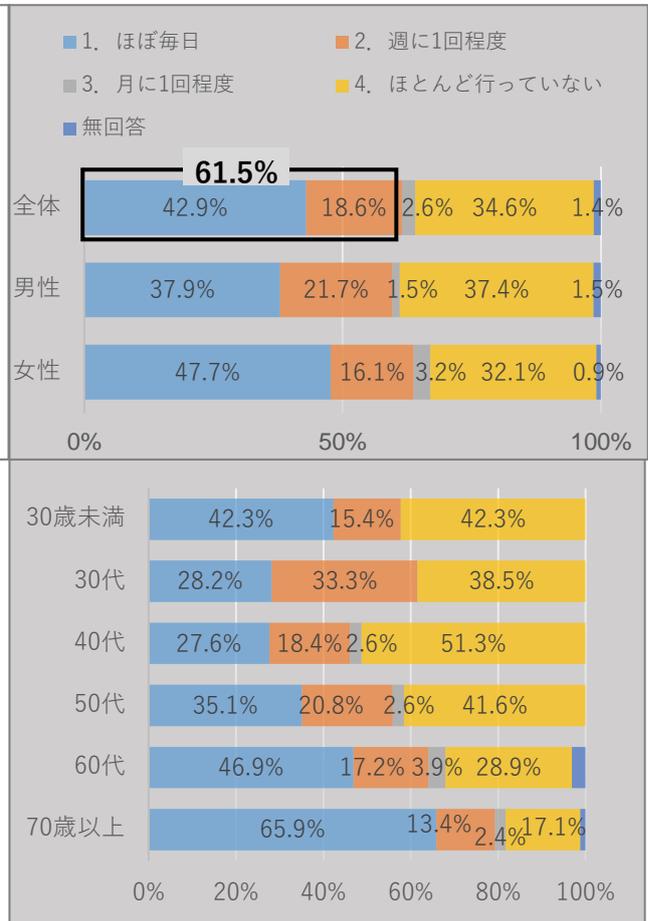
### 3 運動の実施状況について

**設問 4** あなたは、普段どれくらい「運動」（ウォーキングや軽い体操）や健康を意識した「生活活動」（農作業や家事、階段の上り下り等も含む）を行っていますか。また、1回あたりの時間はどれくらいですか。

**R5 市民アンケート結果**



**(参考) R4 市民アンケート結果**



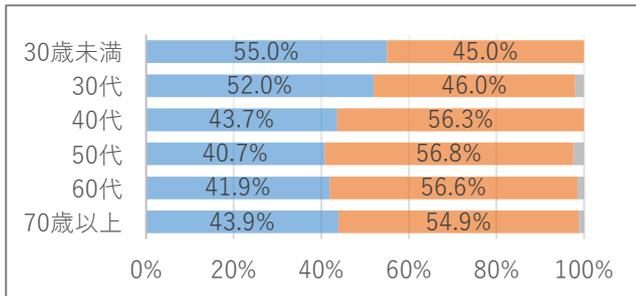
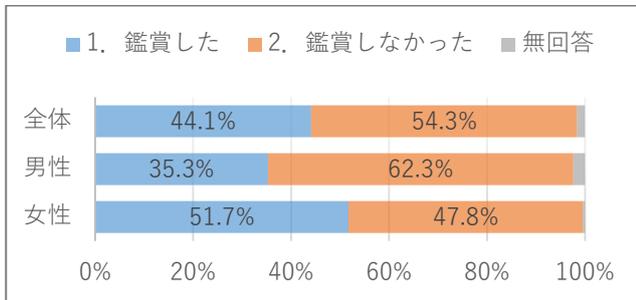
**【分析概要】**

- ▶週1回以上、運動やスポーツを実施している割合は、57%と前年を4.5ポイント下回っています。
- ▶年代別では、これまで働き盛り世代の実施率が低い状況であった40歳代の実施率が昨年と比較して10.4ポイント増加しておりますが、30歳代と70歳以上が昨年と比較して13ポイント以上の減少が見られました。
- ▶週1回以上、運動やスポーツを実施している市民の割合は、50%を超えて推移しているものの、家族や個人で実施できる運動を行うなど、運動形態も変わってきていると考えられ、年代別の実施率もこれまでと違い30歳未満と40歳代が昨年と比較して実施率が高くなっております。

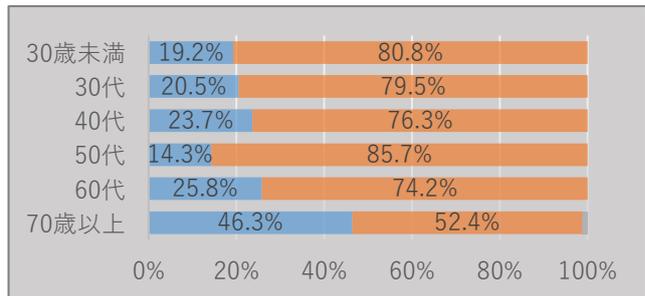
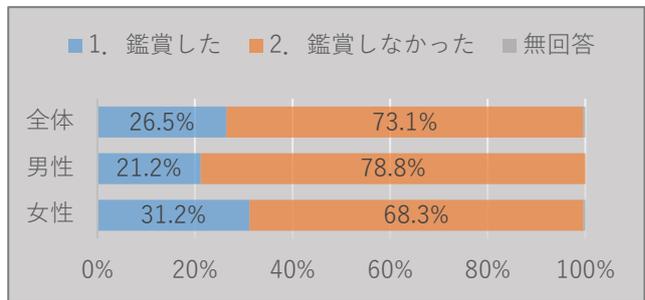
## 4 芸術鑑賞について

設問5 あなたは、昨年1年間に市内外で文化芸術鑑賞（音楽、演劇、美術館、展覧会等）をしましたか。また、コモッセで鑑賞したものは何回ありましたか。

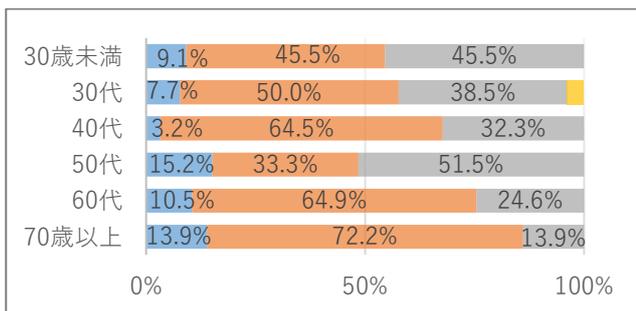
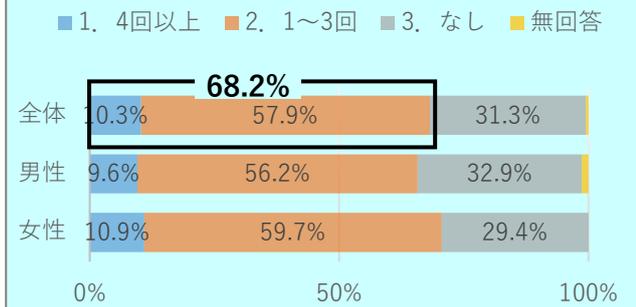
R5 市民アンケート結果



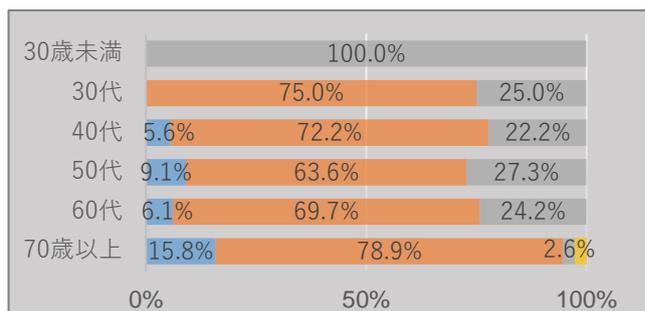
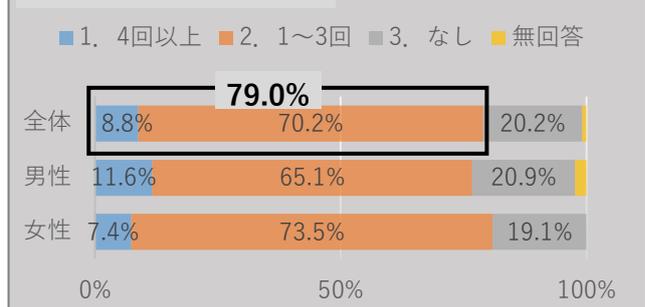
(参考) R4 市民アンケート結果



【コモッセで鑑賞した回数】



【コモッセで鑑賞した回数】



### 【分析概要】

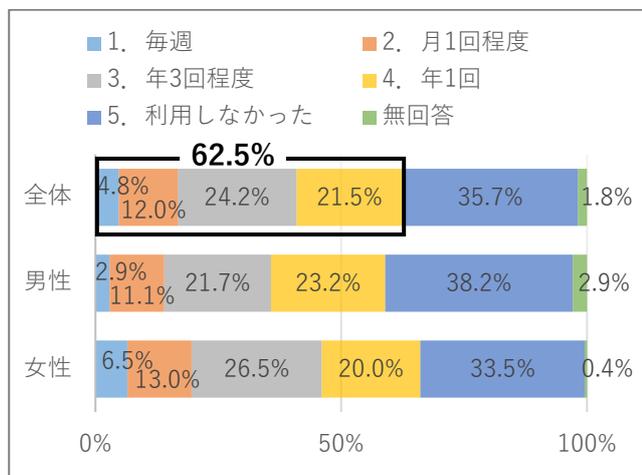
▶文化芸術鑑賞をした人の割合は44.1%と昨年を17.6ポイント上回りました。社会的状況がウィズコロナに変化したことにより、イベント開催も徐々に規制緩和され、多くの人が芸術鑑賞や文化活動を求めた結果となりました。

▶「鑑賞した」人のうち、コモッセで鑑賞した割合は68.2%となり前年比10.8ポイント減少しました。コモッセでの鑑賞は減少したものの、数値としてはコロナ禍以前の状況に徐々に戻りつつあります。

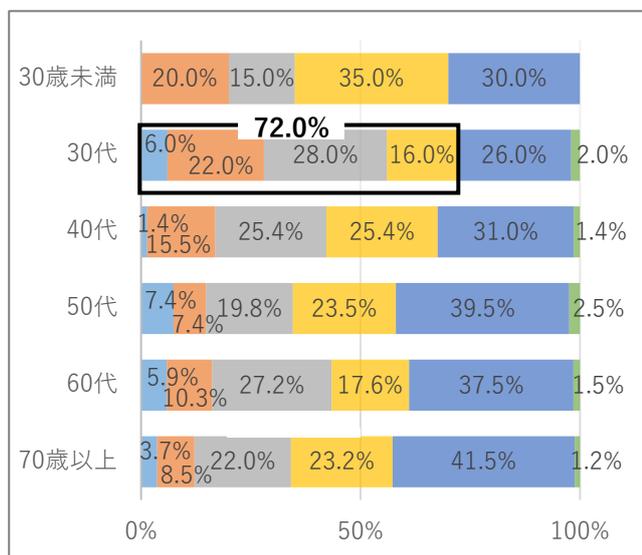
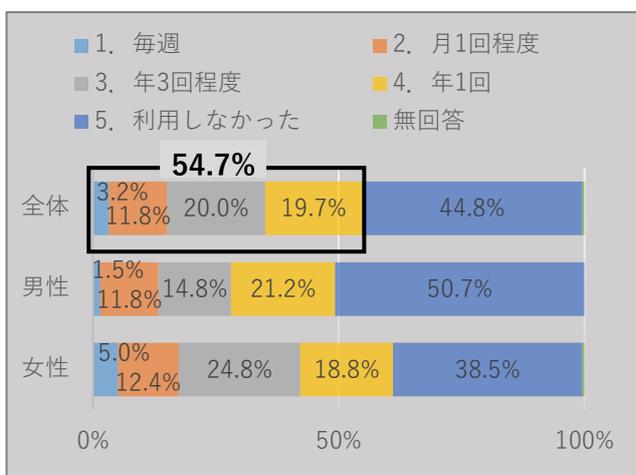
## 5 コモッセの利用状況について

設問6 あなたは、昨年1年間にコモッセをどれくらい利用しましたか。

R5 市民アンケート結果



(参考) R4 市民アンケート結果

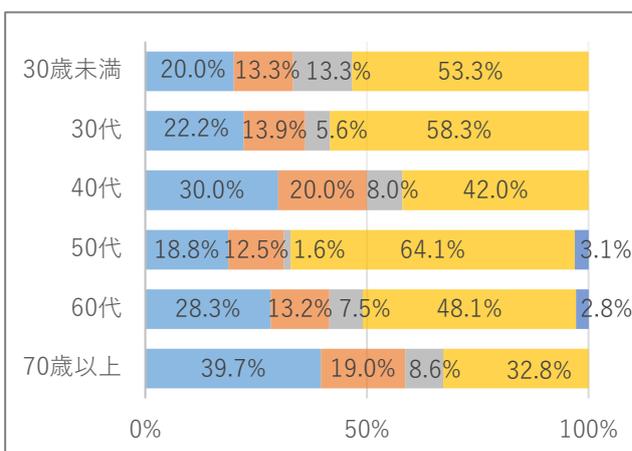
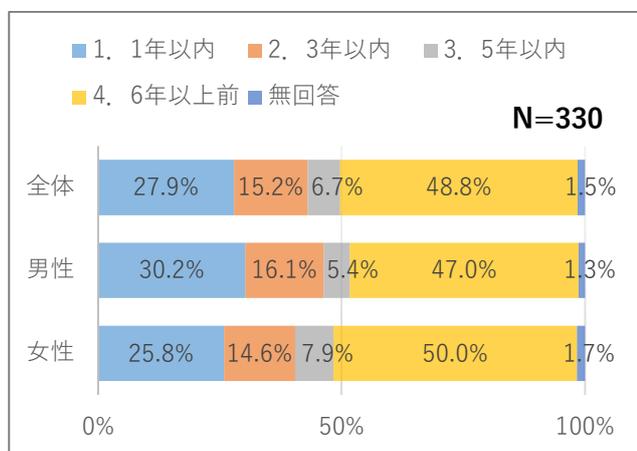
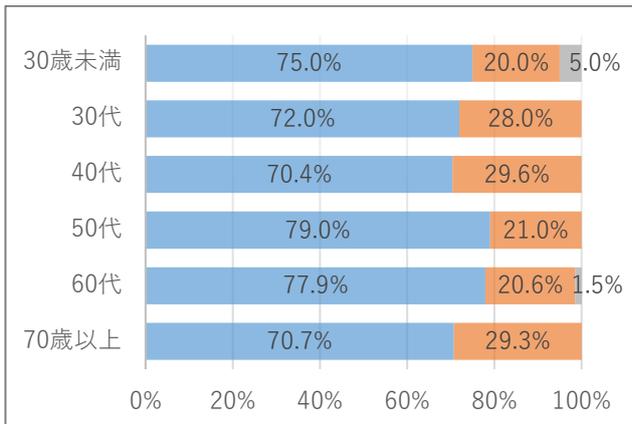
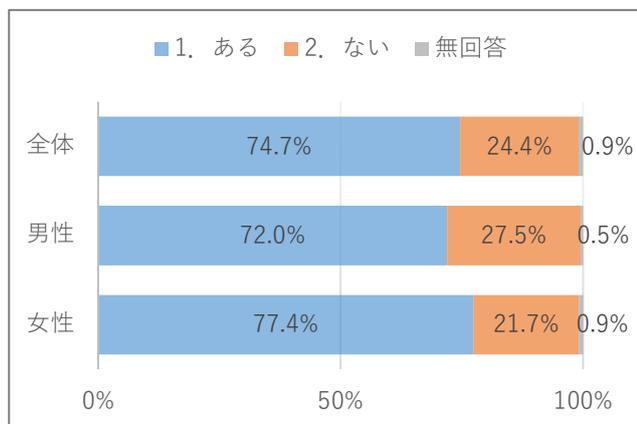


### 【分析概要】

- ▶ コモッセを利用した人は62.5%で昨年を7.8ポイント上回りました。特に30代、40代の割合が多く子育て世代に利活用されています。
- ▶ 男女別では、女性が5.1ポイント、男性が9.1ポイントそれぞれ増加しました。利用回数では、これまでと同様に女性は年3回程度が多く、男性は年1回が一番多かったことに加え年3回程度も増加し女性とほぼ同じ割合となっていることから、男女ともに定期的に利用していることがうかがえます。
- ▶ 年代別では、70歳以上が8.5ポイント減少しましたが、年代別の利用割合では50代、60代とほぼ同じでした。
- ▶ 利用しない理由としては、用事がないためと回答した人が多く、複合施設の利点を生かした多様な利用方法の情報発信や、共有スペースの環境をコロナ禍以前の状態に整えることで、多くの市民が集い、賑わう施設運営を進めていきます。

## 6 大湯環状列石について

設問 7 ① あなたは、大湯環状列石を訪れたことはありますか。また、訪れたのはいつですか。

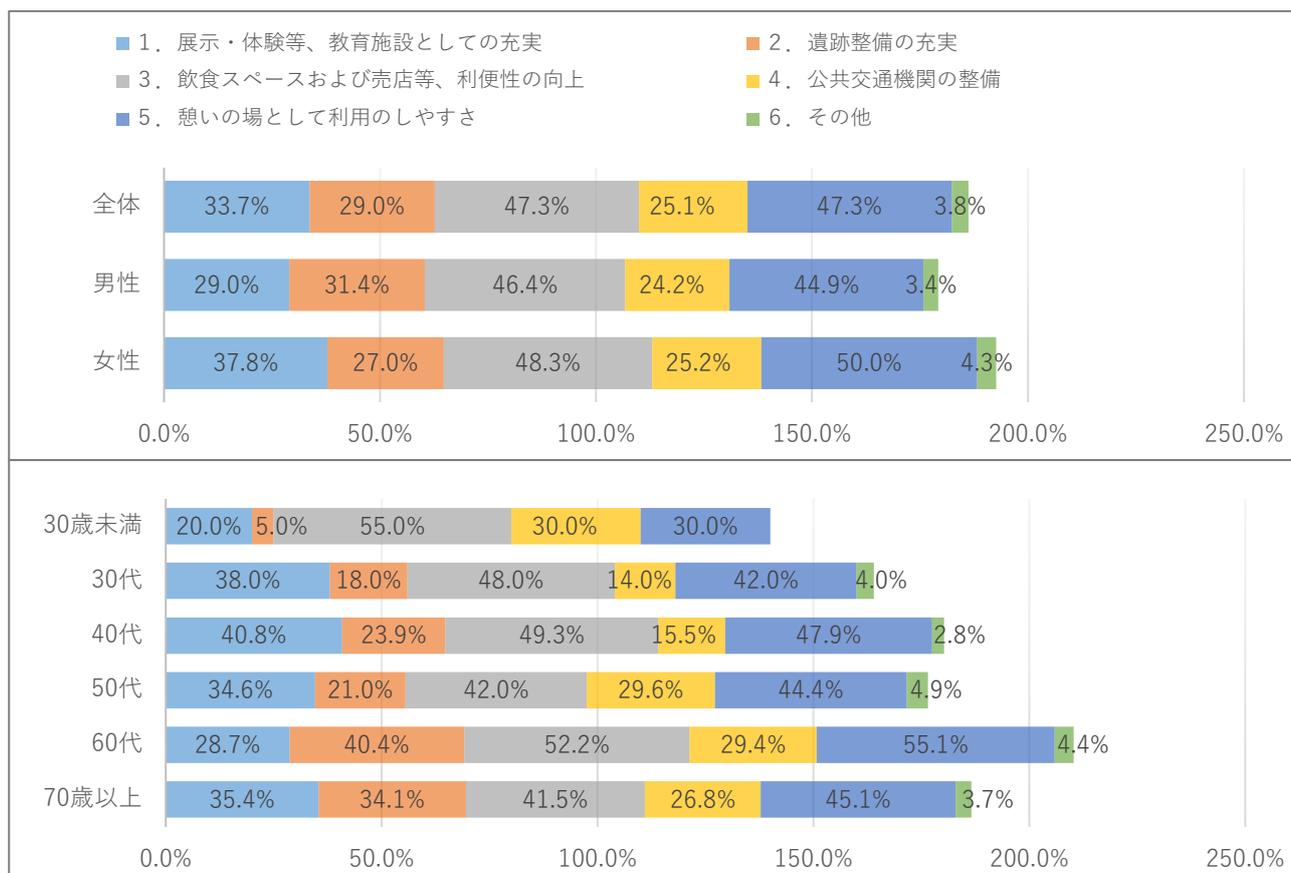


### 【分析概要】

- ▶大湯環状列石への訪れたことがある割合は74.7%でした。
- ▶年代別でも、全年代で7割を超えており、幅広い層が遺跡を訪れていることが分かりました。
- ▶一方、世界文化遺産登録後に遺跡を訪れた人が、3割未満であった点については、世界遺産登録を好意的に捉えている人が多いものの、再び訪れたいという行動変容を促すに至っていない状況がうかがえます。

**設問7②** 今後の大湯環状列石の活用および周辺施設の整備等に望むものはありますか。

当てはまるもの3つまで選んで○をつけてください。



**【分析概要】**

▶「飲食スペースおよび売店等の利便性の向上」や「憩いの場としての利用のしやすさ」を望む回答が特に多く、遺跡や展示の見学だけでなく、利便性や遺跡の活用の幅広いニーズが求められていることがうかがえます。

▶その他の回答には、遺跡でのイベントの実施や遺跡に関連したグッズ、スイーツの開発などエンターテインメント性を求める意見や、遺跡への案内看板を設置するなど地域間の観光の強化を求める意見があり、遺跡および地域全体の盛り上がり期待していると考えられます。

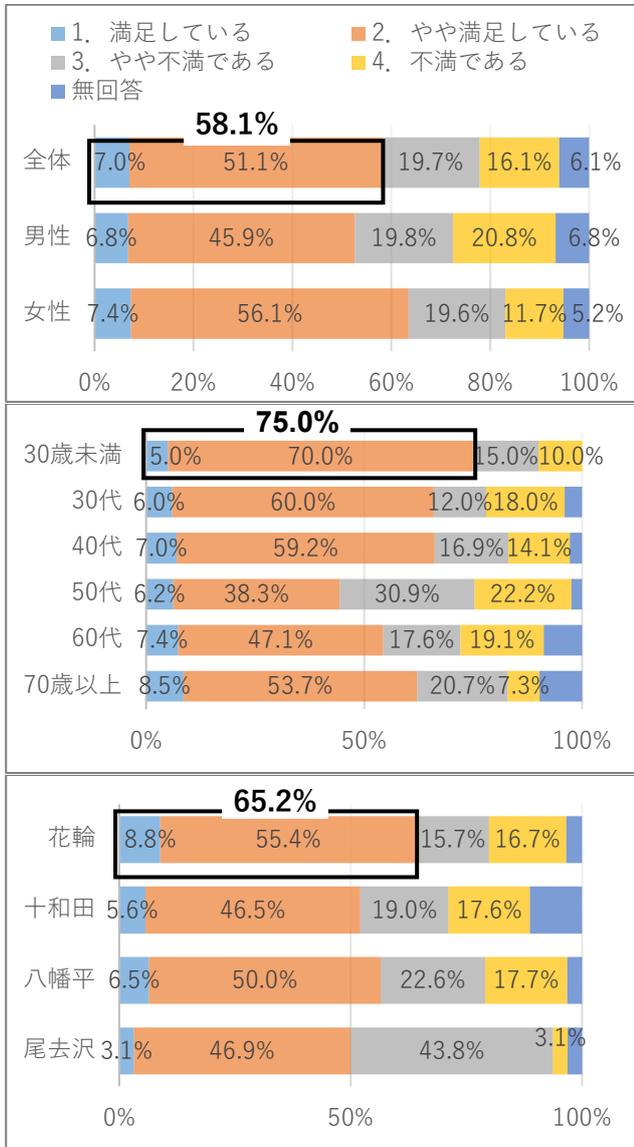
▶また、熊による被害を心配する意見もありましたが、電気柵設置や樹木・雑草の管理などによる遺跡に熊を寄せ付けない対策をとりつつ、引き続き見学者の安全確保に努めていきます。

▶遺跡へ感心が無い方に対しても、道の駅やDMOなどの観光関係者とも連携し、多くの人が遺跡に行ってみたいと思えるような遺跡・館の整備を進めていきます。

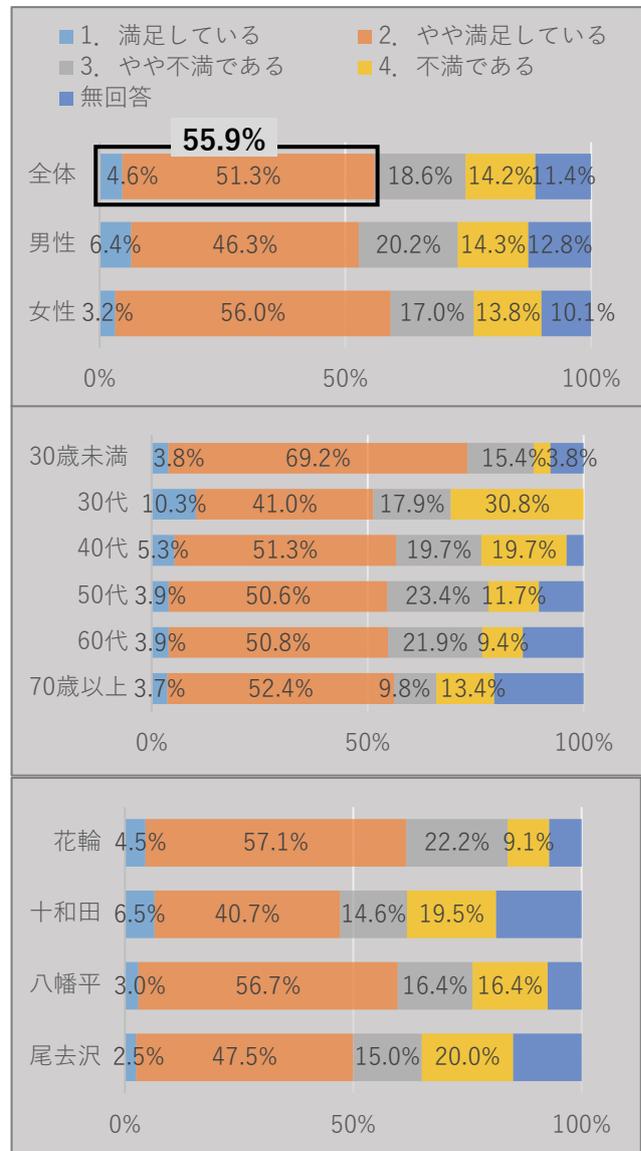
## 7 中心市街地について

設問8 あなたは、中心市街地の生活環境（住みごこちだけでなく、交通の便や公共施設の配置など中心地としてのまちの便利さ）に満足していますか。

R5 市民アンケート結果



(参考) R4 市民アンケート結果

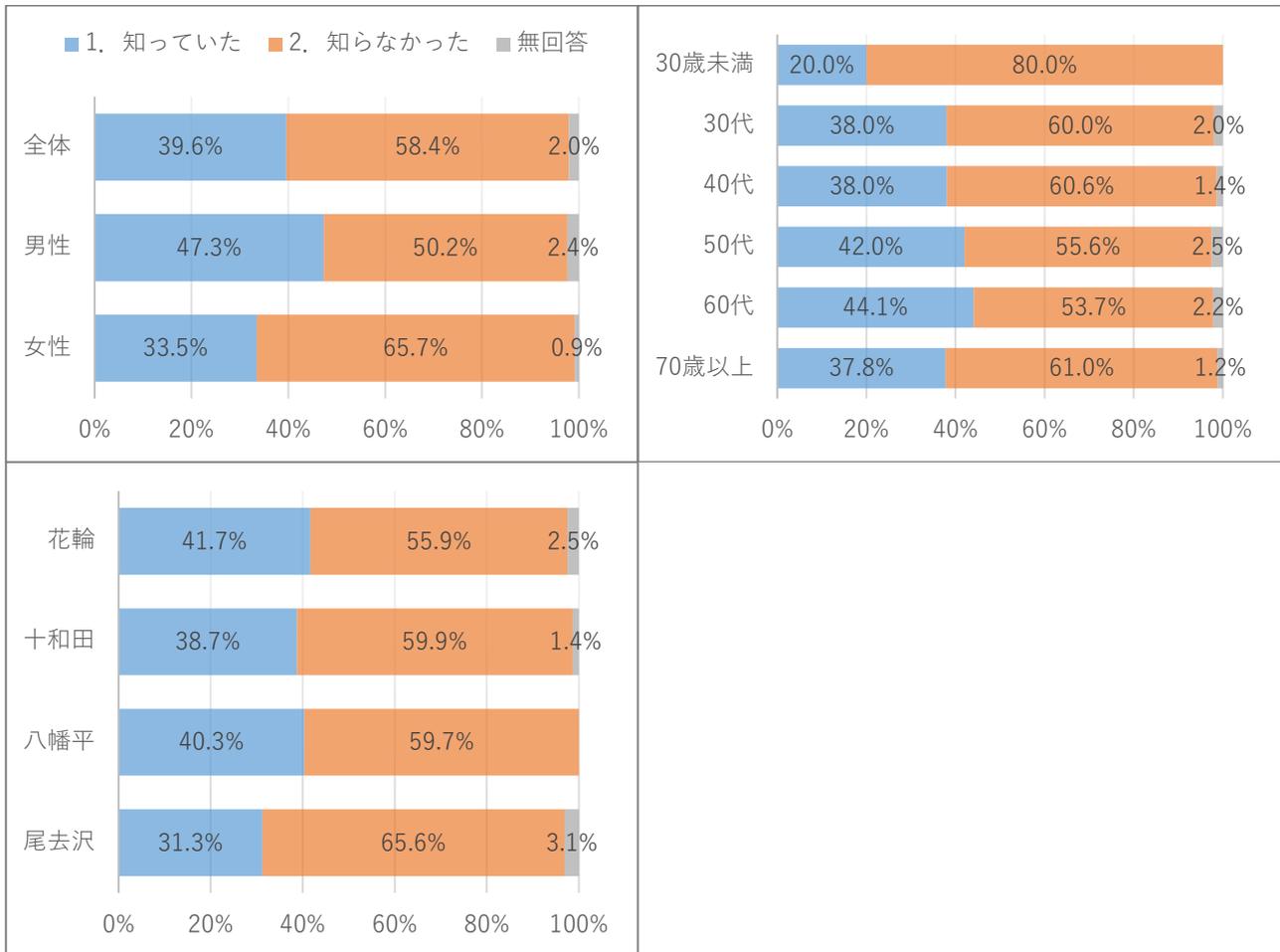


### 【分析概要】

- ▶ 「満足」「やや満足」と回答した割合は58.1%で前年を2.2ポイント上回りました。
- ▶ 年代別では、30歳未満の満足度が75.0%と最も高く、30代、40代、70歳以上は60%以上と昨年より満足度は高くなっています。
- ▶ 地区別の推移は、花輪地区在住者の満足度が65.2%で最も高く、昨年より2.6ポイント増加、十和田地区在住者も4.9ポイント増加しました。尾去沢地区在住者は増減なく、八幡平地区在住者は3.2ポイント減少しました。
- ▶ 不満と感じる理由では、買い物環境の魅力が減少していることや賑わいが少ないことが最も多く、次いで公共交通機関が不便であること、駐車場が少ないことが挙げられています。

## 8 カーボンニュートラルについて

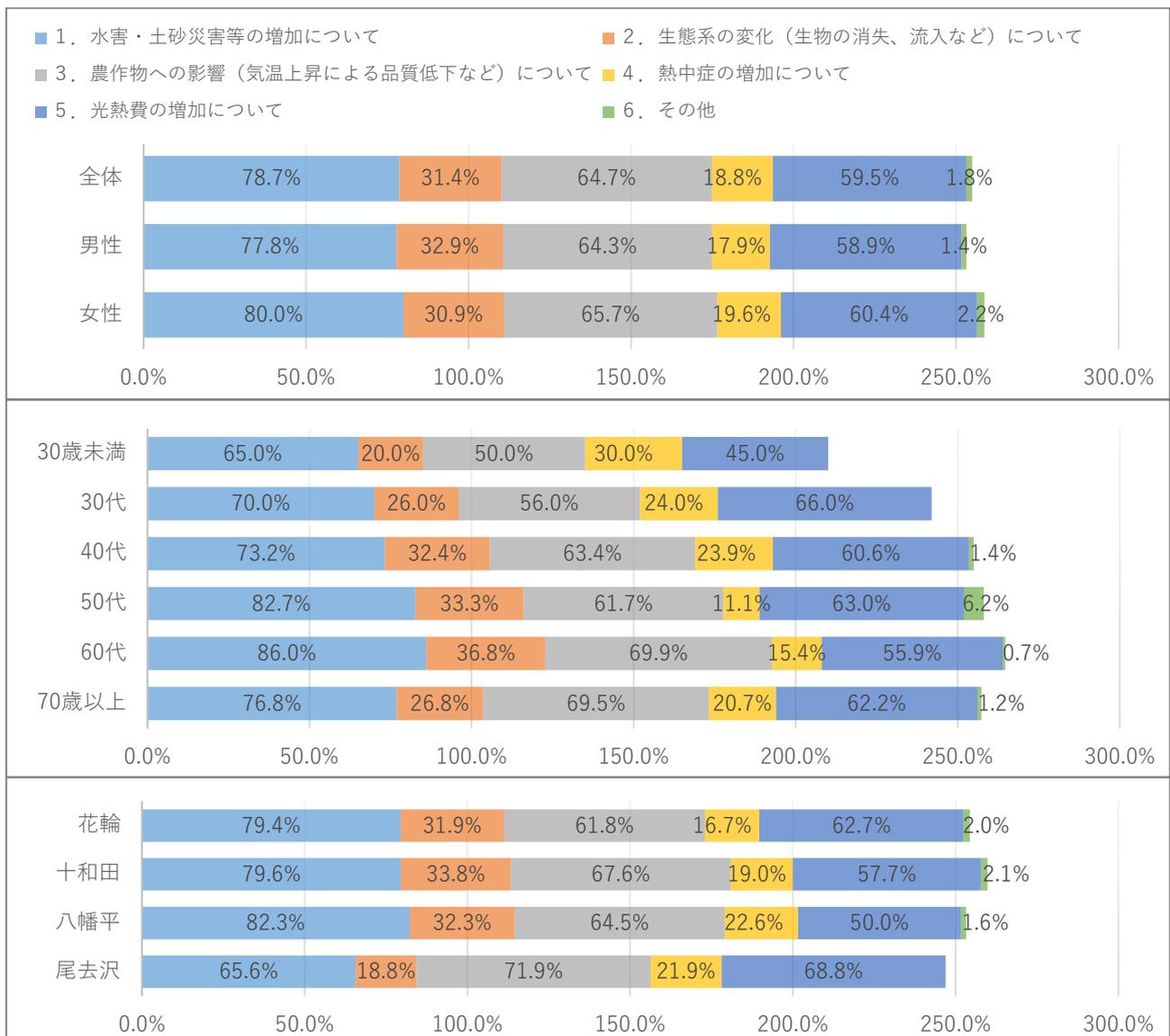
設問 9① 鹿角市では、令和4年3月に「鹿角市 2030 ゼロ・カーボンシティ宣言」を行い、日本全体の目標である2050年より20年早い、2030年のカーボンニュートラル実現を目指しています。このことを知っていましたか。



### 【分析概要】

- ▶ 「知っていた」と回答した割合は全体で39.6%であり、昨年度と比べて7.3%ポイント増加しましたが、約6割の市民が知らないと回答しており、さらなる周知が必要です。
- ▶ 年代別では、「知っている」と回答した30歳未満の割合は20%にとどまり、全体の半分程度の認知度となっています。
- ▶ 性別、居住地別では大きな差異はありませんでした。
- ▶ 2030年までにカーボンニュートラルを達成するためには全市を挙げた取組が重要であり、若年層を中心にさらなる意識醸成を図りながら、脱炭素化への取組を進めていきます。

設問 9② 地球温暖化によってわたしたちの生活にも様々な影響があると予想されていますが、あなたが関心のあるものはありますか。当てはまるもの 3つまで選んで○をつけてください。

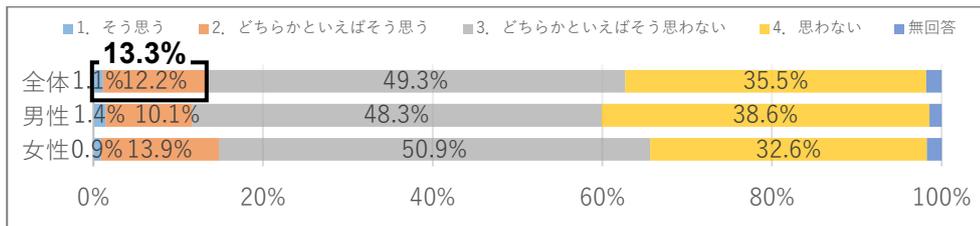


**【分析概要】**

- ▶地球温暖化による影響のうち、「水害・土砂災害等の増加」「農作物への影響」「光熱費の増加」など、市民生活への影響が大きいものほど市民の関心が高いという結果になりました。
- ▶市民の関心が高い事項を重点的に広報に取り入れるなど、効果的にカーボンニュートラルの周知を進めていきます。

## 9 まちの満足度について

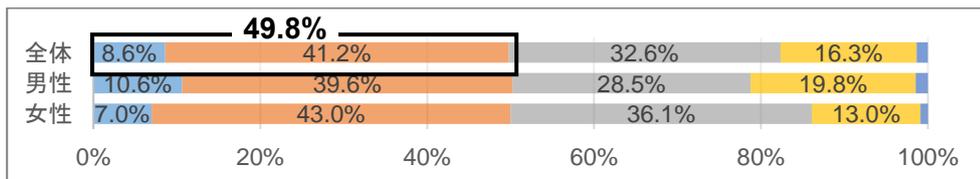
設問 10① あなたは、鹿角市の産業（会社、店舗、農業など）は元気で活力があると思いますか。



### 【分析概要】

▶R1 基準値 (19.5%)  
より 6.2 ポイント減少。  
男性は 4.0 ポイント、女性  
は 9.1 ポイント減少。

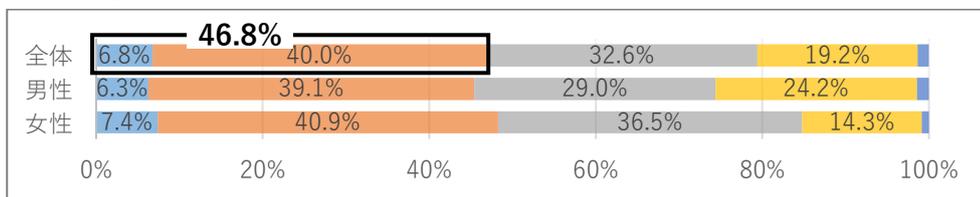
設問 10② あなたは、鹿角市が心身ともに健康な暮らしができるまちだと思いますか。



### 【分析概要】

▶R1 基準値 (58.7%)  
より 8.9 ポイント減少。  
男性は 5.6 ポイント、女  
性は 10.8 ポイント減少。

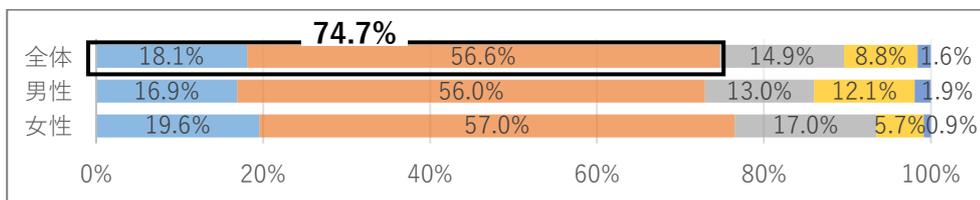
設問 10③ あなたは、鹿角市は生活環境が快適なまちだと思いますか。



### 【分析概要】

▶R1 基準値 (49.7%)  
より 2.9 ポイント減少。  
男性は 0.6 ポイント、女  
性は 4.2 ポイント減少。

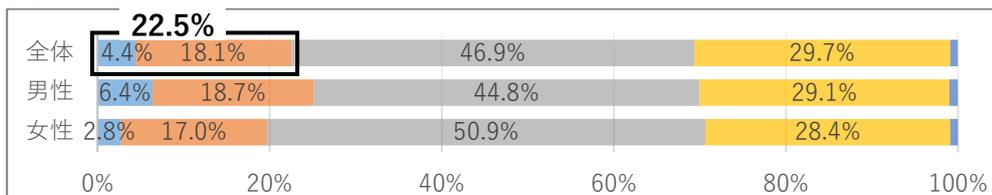
設問 10④ あなたは、鹿角市が安全で安心して暮らせるまちだと思いますか。



### 【分析概要】

▶R1 基準値 (77.6%)  
より 2.9 ポイント減少。  
男性は 5.0 ポイント、女  
性は 1.7 ポイント減少。

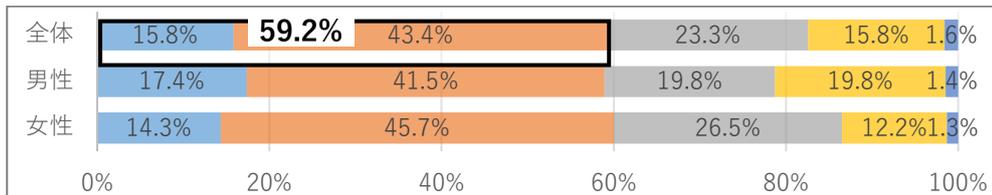
設問 10⑤ あなたは、鹿角市が市外から人が訪れたい魅力のあるまちだと思いますか。



### 【分析概要】

▶R1 基準値 (23.4%)  
より 0.9 ポイント減少。  
男性は 1.2 ポイント増、  
女性は 2.6 ポイント減。

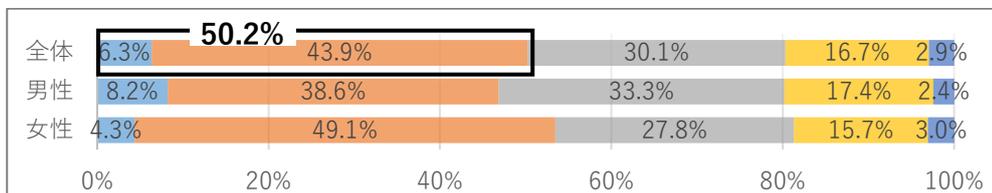
設問 10⑥ あなたは、鹿角市は文化遺産が豊富で誇れるまちであると思いますか。



### 【分析概要】

▶R1 基準値 (51.3%)  
より 7.9 ポイント増加。  
男性は 3.6 ポイント、女  
性は 12.1 ポイント増。

設問 10⑦ あなたは、自分に必要な行政サービスが受けられていると思いますか。



### 【分析概要】

▶R1 基準値 (59.8%)  
より 9.6 ポイント減少。  
男性は 15.6 ポイント、  
女性は 4.4 ポイント減。